

本を選ぶ

NO.473 2024年(令和6年)10月20日

●発行/ライブラリー・アド・サービス

<https://www.las2005.com>

本社 〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL=03-6908-4643

●<ろん・ぼわん>呪文を唱えれば

●選書の法則：S. R. ランガナタンからの
187のメッセージ(28)



●●●●●ろん・ぼわん●●●●●

呪文を唱えれば

高度成長期と言われた昭和の頃、テレビ放送がカラー化された時代だったろうか、黒柳徹子の「魔法のじゅうたん」(1961年4月5日から1963年10月2日までの毎週水曜日の18時からNHKで放映)というテレビ番組があった。黒柳徹子の「アブラカダブラ！」の呪文とともに、子どもたちと一緒に乗せた「魔法のじゅうたん」が空を飛び、子どもたちの学校目指して飛んで行き、空から観察するという趣向だったと思う。NHKのサイトには「作：飯沢匡/音楽：宇野誠一郎」とあるから、空撮など当時の最新の技術も駆使しながら子ども向けにちゃんと制作していたのだろう。

60年以上前に親しんだこの「アブラカダブラ！」という呪文、どこかで再び見たり聞いたりしたような気がしてならないでいた。最近になってやっと思い当たった、ハリー・ポッターだ！ すぐに思いつかないのは熱心ではない読者だったからだろう。全く知らない分野だが、聞けばディズニールンドのアトラクションなどでもしばしば使われているようだ。

『ハリー・ポッター』シリーズの作中では「アブラカダブラ」を由来とするこの呪文は「アバダ ケダブラ！」(avada kedavra) となって登場する。

ハリー・ポッター最大の敵ヴォルデモート卿がしばしば発している強い呪文だ。

「アブラカダブラ」(abracadabra) とはもともとはアラム語というヘブライ語に近い言語が語源のようだ。「消えてなくなれ」くらいの意味となる。アラム語はイエス・キリストが日常的に話していたらしい言語として知られる。現在でもシリアにはごく少数の話者がいるとされる。

『ハリー・ポッター』シリーズで登場する呪文の多くがラテン語あるいはラテン語風なのは、イギリスでは読者にもっともらしく響くからなのだろう。なにしろ原作者J・K・ローリングは大学でラテン語を学んでいるらしいので、謂わばお手のもの。読者を引き込むには魔法の壮大な物語世界を構築しなくてはならない。呪文を伝授するホグワーツ魔法魔術学校は主人公のハリー・ポッターが入ることになる7年制・全寮制の魔法学校。いかにもイギリスらしい。それに国際魔法使い連盟なるものまで登場し魔法界もグローバル社会のようだ。

創業当時のアマゾンが、当初は魔除けの呪文として知られる「アブラカダブラ」から取った「cadabra.com」という社名でスタートしたものの、死体を意味する「cadaver」と聞き間違えられてしまったために、アマゾン河からとったアマゾン・ドット・コムに変更したというエピソードがある。

『ハリー・ポッター』が登場するよりもはるか前に、日本では「アブラカダブラ！」と唱えれば大半の子どもが本当に空を飛ぶと思い込んでいたろうし、忘れられない呪文となった。(埜村 太郎)

選書の法則：

S. R. ランガナタンからの187のメッセージ (28)

吉植 庄栄

28. 五つの法則の内戦・上

『図書館選書論第2版』の内容を、ランガナタンがよく使った架空の対談方式で紹介している。今回からなんと法則達の内輪もめをお届けする。五つの法則の主張のそれぞれが他の法則の主張とぶつかり、その解決法を考えるところが見どころ！

【登場人物】

○ランガナタン：図書館界のビッグスター、S. R. ランガナタン (1892-1972) 先生。今回は内輪もめの仲裁役を務めます。

○第一法則くん～第五法則くん：ランガナタンの著作『図書館学の五法則』に出てくる各法則。今回から全員集合して、論戦を繰り広げます！

○内輪もめの経緯

ランガナタン (以下「ラ」)：読者の皆さん、こんにちは。前々回まで第一法則くんからはじまって第五法則くんまで、彼らから見た選書論について、紹介をしてきました。しかし、読者さんの中の勘のいい方は、その説明だと以前の第〇法則くんの主張と矛盾するのでは??とか、数回前の第〇法則くんの言っていることが真逆なのでは?と感じたところがあったのではないかと思います。はい、その通りなのです。「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。」とはよく言ったもので、何事もバランスが大事なのです。で、実は各法則達の主張を同時に全部叶えるというのはなかなか難しいのです。これらの主張の対立をうまくまとめることができれば調整が成功ですが、こじれるとまさに「紛争」になります。今回から3回にわたって、この内輪もめ・・・格好よく言うと内戦を公開論戦というかたちでお届けし、どのように調整していくかの指針を我々で考えていきます。読者の皆さんも、一緒に考えてもらえると嬉しいです。ここでの論戦は選書論に留まらず図書館の目指すものや在り方をよく考えるチャンスになるとも思うし、普段生活する中で人とぶつかった時の指針にももしかしたらなるかもしれません。それでは始めて行きましょう。

○五法則勢ぞろい！

ラ：それでは今回の論客の皆を紹介する。特に最

初のころに登場した第一法則くんは、大変ご無沙汰であった。

第一法則くん (以下「一」)：はい、先生！ご無沙汰しております！自分が先生と対談していたのが、平成28(2016)年ころですよ？8年ぶりの登壇で感無量です。それにしても当時はこの連載も1ページだけで、そのくせこの『図書館選書法』第2版の内容は、この私こと第一法則に基づく選書の法則がとて多くて、まとめるのに本当に苦労しましたよね。

ラ：そうだ。今はこの『選書法』の内容をたっぷり紹介できるほど、筆者さんの担当ページが増えたので、君にはまた日の目を見てもらいたいとは思っている。(筆者より：一通り内容を紹介し終わったら、第一法則くんや第二法則くんの補遺を書こうと思っています。当時は割り当てが少なかったため、大幅にカットせざるを得なかったのです。)一：ということで皆の紹介です。まず私から行きます。私は、第一法則「図書は利用するためのものである。(Books are for use.)」です。今ではとても当たり前な法則です。ですが、当たり前過ぎてもう空気みたいになっているせいか、存在を忘れられがちで重視されません。例えを挙げると、感染症を怖がるあまりに次々に図書館が閉館になったときですね。これは、実に悔しかったです。何故なら、何の科学的根拠も無く図書館が利用不可になったからですね。これは本当に本当に痛恨でした。この8年間の中で一番記憶に残っている辛かったことです。ということで、よろしく願いいたします。では、次は第二法則です。

第二法則くん (以下「二」)：はい、今紹介された第二法則です。「いずれの利用者にもその人の本を (Every reader his [or her] book)」を主張しています。よろしく願いいたします。

第三法則くん (以下「三」)：第二法則くんの双子の裏法則扱い (自虐) の第三法則「いずれの本にもその利用者を (Every book its reader)」です。

普段から印象薄いつてランガナタン先生にいじられる位置づけですが、とつても不本意ですね。全国の展示担当の図書館員の方、引き続き面出しテーマ展示を何とぞよろしくお祈いします！コロナの時は本当に利用者さん達が来館しないので、夜眠れなくなつてしまひ心療内科を受診するか本当に悩みました。今回は他の法則のみんなに負けなひように頑張ります！！よろしくお祈いします！

第四法則くん（以下「四」）：全国3万人(?)のファンのみんな！待たせたぜ！おれつちこと第四法則「利用者の時間を節約せよ(Save the time of the reader)」が、2年ぶりにけ一つてきたぜ。やっぱりここに登壇するのはしびれんな！おいらはほんとこの2年が長くて長くて、この日が来るのが待ち遠しくて仕方なかつた、べらぼうめ。つーことでよろしくな！

第五法則くん（以下「五」）：はひ、最近まで登壇してひた第五法則「図書館は成長する有機体である(The library is a growing organism)」です。最近、仕事の必要で追手門学院大学図書館を見に行つたのですが、すごひですね！図書館も成長しすぎて宇宙戦艦みたいになつてひました。宇宙船といへば宮城県図書館ですが、今回は更に近未来過ぎて腰を抜かしまひたよ。では、よろしくお祈いします。



図1 追手門学院大学アカデミックアーク（中心に図書館があります。）

ラ：うむ、皆、自己紹介ありがたう。さて、それではここから各法則の主張を基に対立点を考へて行こう。ここからは多くの問題の中から、とりわけ気になる点を、各法則くんたちにディスカッションしてもらおう。

○第一ラウンド：第一法則くんと第二法則くん

ラ：では最初は第一法則くんと第二法則くんだ。

「利用」について突き詰めて考へると、選書の考へ方に大きな溝ができてしまひ。その点について、ディスカッションをよろしく。

一：はひ、承知しまひた。以前から第二法則くんにひいたかつたことがあるんだ。それは利用者に甘すぎだよなつてことだよ。

二：私も第一法則くんは、利用者に厳しすぎると思つてひました。

一：「利用」が大事といひるのは意見が一致してひけど、なんでもかんでも利用者が読みたいものを提供するのはおかしいだろう。

二：いへ、全ての利用者にその人の読みたい本を届けるのが図書館の責務なんです。あなたは、それ以外の何が大事だといひのですか？

一：「社会にとつて良い結果をもたらす「利用」をさせる」といひのが大事だ。それが一番だろう。

二：あなたの言う「社会にとつて良い結果」つて何ですか？それを追求して本当にいい社会になれば良いけど、考へが偏つた「良い社会」つまり、為政者の思つぽとなることも含まれるでしょう。

一：いやあ、そんなことはなひ。そんな戦前でもあるまいし。

二：そんなことあるでしょう。現に世界中には独裁者みたいなのが居るわけです。その体制にとつて「よい結果」の実現は、本当に目指していいものなのでしょうんか？

一：そんな極論を言うなよ。

二：あなたの主張を誤用すると、そのような悪い結果になるのです。つまり選書自体が「検閲」になるのですよ。図書館に受け入れる本を選び、社会にとつて良い結果を招かひ本を除外する・・・といひことは、国家体制が悪いと検閲になる訳です。

一：そうやつて体制を悪者にするけど、利用者は絶対なのんか？利用者が欲する本つて言つたつて、低俗なものや間違つた考への本が非常に多く含まれるではないか。そんなものを公費で買つてはダメだろう。

二：そうやつて大衆を愚民扱いするのですね！？あなた、いいですか・・・(と議論は続ひていく)。

ラ：この辺にしておくか・・・、この議論は決着が

着かないように見える。

○第二ラウンド：第二法則くんと第三法則くん

ラ：では次に第二法則くんと第三法則くんだ。先ほどは第一法則くんと盛んに第二法則くんが攻めていたが、さて今回はどうなるかの。

二：さてさっきは攻勢一方で有利なところで終わったな。余勢を駆って更に敢えて言おう！「すべての利用者」は現在の目の前の利用者のみにあらず！将来この図書館を使う「すべての利用者」を含むのだ。ゆえに選書業務では、将来この本が読まれるかどうか大きな要因として考慮せねばならない。

三：えー！そんなー！！そんな未来の人に力点をあげば、現在がおろそかになり利用者が図書館の選書した本を使ってくれません。

二：現在と未来は等価で平等である！どちらにも視点を置いて、これから現れる利用者に満足される選書をせねばならないのだ。

三：そんなことまで意識していると、選書した本にいつ利用者がつか分かりません。あくまでも「すべての利用者」とは今の利用者であるべきです。今の利用者にそっぽを向かれたら、それこそ図書館の明日はありません。兄上はどれだけ今を犠牲にして未来に思いを馳せているのですか！

二：すべての人に平等でなければならない。空間的な平等も時間的な平等も等価であり……(演説は続いている。)

ラ：この議論もこの辺にしておくか……、前と同じくこの議論も決着が着かないように見える。

○第三ラウンド：第三法則くんと第四法則くん

ラ：さて次に行こう。次は第三法則くんと第四法則くんに、ベストセラー問題について話してもらおう。

四：さて、おれっちの出番だぜー！早速だが、人気の小説って公共図書館で大人気だよな。第五法則のふてえ野郎みたいだな。で、予約数のすげーこと！売れっ子作家東野圭吾師匠の新作『クスノキの女神』を試しにOPAC(仙台市図書館)で検索したんだが、なんと621人も予約してやがるぜ。な

所属館	所属場所	請求記号	資料番号	資料区分	種別可否	状態
総館	一般図書	/913.6(13)	111136125	一般書	可	貸出中
宮城野	一般図書	/913.6(13)	2112633850	一般書	可	貸出中
宮城野	一般図書	/913.6(13)	2112633843	一般書	可	貸出中
宮城野	一般図書	/913.6(13)	2112627290	一般書	可	貸出中
宮城野	一般図書	/913.6(13)	2112633869	一般書	可	貸出中
宮 野	一般図書	/913.6(13)	3111455543	一般書	可	貸出中
宮 野	一般図書	/913.6(13)	423428438	一般書	可	貸出中

図2 仙台市図書館 OPAC の『クスノキの女神』所蔵情報画面

んだ、この人数は？いって一ぜんてーどーなってやがるんだ、ちきしょうめ。

三：えー！7つの図書館と3つの図書室合わせて25冊も所蔵ー！？ちょっと多すぎではないですか？？？それも宮城野・市民・若林・太白・泉の4館は複本を4冊もそれぞれ所蔵していますね。

四：なんだとお！？25冊もっておめー正気か？621人も待つてやがるんだぜ！それこそ全館で600冊くらい所蔵して、この皆さんの時間を節約するのが務めだろう！？

三：はあ！？一体何を言っているんですか！？そんな限られた図書館の財源を無駄にしてはダメですよ。今でこそ大人気ですが、時間が経って人気に陰りが見えてきたときに、きっと悲しい結果になりますよ。利用者がつかない本がたくさん死蔵され、私の主張からは地獄絵図です。

四：とは言ったってよお、こんなに待たせてるんだぜ！今が大事に決まってるんだろ。おめーだって、さっき今の利用者が大事って言っていたのに、舌の根も乾かないうちにふてー野郎だな！？

三：こんな短絡的な人とは話にならないな。私はね、かつて非常に利用者が必要とされて図書館で多数受け入れた本が、今やだれも読まなくなり書庫の中にひっそり数十冊眠っている……という数々の悲劇をずっと見てきたんです。宵越しの金はもたねーぜ！って放蕩の限りを尽くして、その結果次の給料日前には鼻血もでねーや……とか言っている人の話なんか聴いてられないっすよ。

四：なんだとお！てめー、おいらが一番気にしていること言いやがって！……(論戦は続いている。)

ラ：この議論・・・というかもう喧嘩だな、ほらこの辺にしておくぞ。2人ともけなしあってはいかん。さて、この議論も決着が着かないように見える。

○敵の手を借りよう

ラ：さて、このように3つの話題を議論してもらった。これらはあくまでも例であり、ほかにも様々な対立点がある。選書業務で悩む中に、このような対立する点、矛盾する点は数多く隠れているし、様々な局面で顔を出す。

一～五：(声をそろえて)先生はどの議論も決着がつかないように見える・・・と言っていますが、どうお考えなんですか？

ラ：うむ。別に煙に巻いているわけではない。2人で議論をしていると、埒があかないのだ。では、どうしたらいいだろう？

一～五：全然見当が付きません。教えて下さい。

ラ：だろうな。当事者だもの、なかなか俯瞰的には考えられない。そこで提案だ。2つの勢力が争っている時に、強大な別の敵が攻めてきたら皆どうする？

一～五：内輪もめをやめて、協力して撃退しようとしませう。小さいことは気にしてられず、存亡の危機です。

ラ：その言葉を待っていた。例えばだな、2匹の猫がケーキを取り合っているとす。2匹の猫は

どちらも同じ力量でなかなか決着がつかないし、半分で切って和解をしようもしない。

一～五：はい、さっきの我々みたいすね。

ラ：そうだ。さて、そこに通りがかった猿がケーキに気づいて介入してこようとした。どうなるかの？

二：2匹の猫は大ピンチっすね！最悪、猿に全部もってかれてしまいそうで争っている場合ではないです。

ラ：その通り！そこでだ、内戦をやっている君らに僕は第三の敵を差し向けたいと思う。

四：そいつは一大事だ、喧嘩している場合じゃねーや。

一：先生、どんな敵ですか？

ラ：それではだな、6つの軍団を差し向けよう。図書館の収容量と職員の処理能力、図書館の予算、資料管理の工夫、複数の図書館の組織化、社会的価値、そして科学的手法だ。

一～五：えー！それってどんな敵なのでしょう？

ラ：まあ紙幅も尽きてきたので次回から詳しく説明するな。ただ予告をちょっとすると、例えば図書館の収容量には限りがある、限界があるのだから自ずと和解の着地点が見えてくるのではないか？

五：まあ次回の先生の話聞いてまた議論をして、みんなで成長しましょう！

(よしうえ しょうえい：東北学院大学文学部)

DMがたろく



1760円 小学校・中学校・文
由美村嬉々文 羽尻利門 絵

四角い空の
むこうへ

いつかぼくは、
人工呼吸器をつけた
気象予報士の第1号に
なるんだ！

“難病でも自立したい”——
NHKニュースでも紹介された
実話にもとづく希望の絵本

晶文社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11
Tel. 03-3518-4940 <https://www.shobunsha.co.jp/>



ESTRELA

■2024年10月号
No.367/10月10日発行
B5判 64ページ
定価1,205円(税込)

[特集] プライバシー強化技術とデータ利活用の動向

- データ利活用におけるプライバシー強化技術の期待と課題／千田浩司(群馬大学情報学部准教授)
- プライバシー強化技術の活用事例と法制度との関係／森毅(株)日本総合研究所 先端技術ラボリサーチャー)
- 改正個人情報保護法に対応した、匿名加工情報・仮名加工情報の活用事例／波多野卓磨(日鉄ソリューションズ(株) 技術本部システム研究開発センター 主務研究員)

公益財団法人 統計情報研究開発センター(Sinfonica)
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル 5階
TEL: 03-3234-7471 <https://www.sinfonica.or.jp/>

米盛裕二

[新装版]
アブダクション

仮説と発見の論理 創造的思考を生み出す推論とは。解説・今井むつみ。3080円



トマス・ネーゲル/
蔵田伸雄 監訳

利他主義の可能性

現代アメリカを代表する哲学者の最初の著書、待望の邦訳。3520円



勁草書房

TEL 03-3814-6861 *価格税込
FAX 03-3814-6854

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 <https://www.keisoshobo.co.jp>

第一線で活躍する研究者たちが
日本史研究の
現在と未来に向けた論点を
わかりやすく解説

現在 日本史の
全6巻

- 6 近現代② 鈴木淳・山口輝臣・沼尻晃伸編
- 5 近現代① 鈴木淳・山口輝臣・沼尻晃伸編
- 4 近世 牧原成征編
- 3 中世 高橋典幸編
- 2 古代 大津 透編
- 1 考古 設楽博己編



定価 各3,300円(本83,000円+税10%)



山川出版社 〒101-0047 東京都千代田区区内神田 1-13-13
TEL 03-3293-8131 FAX 03-3292-6469 <https://www.yamakawa.co.jp/>

高島聡子(著)

●定価1980円(税込) ISBN 978-4-535-56437-4
●四六判

家裁調査官、こころの森を歩く
離婚、親権、面会交流、そして少年非行
家庭裁判所、令和のリアルがここに!

『虎に翼』で話題の家庭裁判所では、令和の今、どんなことが起きているのか。現役家裁調査官が現場のリアルを生き生きと伝える。



11月中旬刊

井原 裕・斎藤 環・松本俊彦(編)

11月11日発売

職場がアブナイ こころの科学special issue
メンタル系サバイバルシリーズ

職場でのこころの問題が多発している。私たちはどうしたら自分のこころの健康を守るのか。さまざまな立場からアドバイスする。 ●予価1430円(税込) ISBN 978-4-535-90472-9 ●A5判



日本評論社

〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4
☎03-3987-8621 <https://www.nipponyoko.jp>

日常会話から民謡・琉歌・組踊・おもろさうしまで

沖縄の言葉をやさしく、楽しく学ぶ、ロングセラー入門書。音声ダウンロードになってより使いやすいくなりました。音声は全文を収録。

■四六判/212頁
■定価2,420円(税込)

西岡敏、仲原穰(著)

伊狩典子、中島由美(協力)

沖縄語の入門

たのしいウチナーグチ [音声DL版]



白水社

101-0052 東京都千代田区神田小川町3-24
www.hakusuisha.co.jp/ tel.03-3291-7811



記者ハンドブック 第14版

～新聞用字用語集～

定価2,090円(本体1,900円+税)

言葉の使い分けを知る充実のロングセラー「記者ハンドブック」が6年ぶりに大改訂。一般企業の企画・広報担当者からWEBライターまで、文章を書くすべての人におすすめする日本語用字用語集の決定版です。

出版目録「ふるさと発見 新聞社の本」第44号

【頒価】200円(税込)

北海道から沖縄まで全国の新聞社44社が発行する出版物をすべて掲載。



(株)共同通信社

〒105-7208 東京都港区東新橋1-7-1 汐留メディアタワー
TEL 03-6252-6021 FAX 03-5568-1109

<https://www.kyodo.co.jp>

はじめてのオペレーション経営

岩尾俊兵・秋池 篤・加藤木綿美 著



価値創造実現のため、経営資源(5M:ヒト・モノ・カネ・情報・人工物)をどう手配すべきか。生産管理を中心に経営戦略等の知見を横断的にまとめた「オペレーション経営」、本邦初の入門書。小規模プロジェクトからグローバル環境下での手配まで順序立てて学べる。

有斐閣ストウディア
定価 2,530円



有斐閣

東京都千代田区神田神保町2-17
<https://www.yuhikaku.co.jp/>

価格は税込